

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	成人看護学概論		
開講時期	1年次	単位・時間	1単位 30時間	講師名	専任講師
学習目標	1. 成人期における対象を理解する。 2. 看護の機能・役割について理解する。 3. 成人期における保健活動の意義を理解し、健康の保持増進を図る援助を理解する。 4. 健康障害時の健康レベルに応じた看護の方法を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	成人各期における特徴① 「成人」とは 成人期の特徴			講義
	2	成人期各期における特徴② 成人をとりまく今日の状況 ライフサイクルからみた成人期における発達課題			講義
	3	成人期にある人の健康 健康とは 成人保健と今日の健康動向			講義
	4	保健・医療・福祉政策と今日の健康課題 ヘルスプロモーションとは がん政策 など			講義
	5・6	成人期にある人を看護するための基本的な考え方 関係を結ぶ・適応を促す・発達を促進する・統合を支援する			講義 グループワーク
	7・8	健康状態に応じた看護① ヘルスプロモーション、ヘルスプロテクション 健康教育、保健指導の実際			講義 グループワーク
	9	健康状態に応じた看護② - 健康状態が急激に変化し急性の状態にある人への看護 -			講義 グループワーク
	10	健康状態に応じた看護③④ - 急性期からの回復過程 - - 生活機能障害を有する人への看護(リハビリテーション) -			講義
	11・12	健康状態に応じた看護⑤ - 慢性的な経過をたどる健康障害を有する人への看護 -			講義 グループワーク
	13・14	健康状態に応じた看護⑥ - 人生の最期の時を迎える人への看護 -			講義 ワークショップ
15	終講試験				
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	成人看護学概論 社会に生き世代をつなぐ成人の健康を支える 南江堂 成人看護学① 成人看護学概論 成人保健 メヂカルフレンド社 ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論 MC メディカ出版 平成31年 我が国の人口動態(平成27年までの動向) 厚生労働省政策統括官				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	・既習したことを各自復習してから授業に臨む。 ・テキストと配布された資料を熟読すること。		

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	運動機能に障害のある成人の看護		
開講時期	1年次	単位・時間	1単位 30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 運動機能障害・脳神経系に障害をもつ成人及びその家族への看護の方法を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	運動機能障害を持つ患者の看護を学ぶにあたって			講義
	2	1) 経過に応じた患者の看護			講義
	3	2) 援助のための主な知識と技術			講義
	4	3) 床上での離床訓練、症状に対する看護 4) 検査・診断を受ける患者の看護			講義
	5	5) 保存療法を受ける患者の看護			講義
	6	6) 手術を受ける患者の看護			講義
	7	7) 疾患を持つ患者の看護 (腰痛、脊髄損傷、骨腫瘍、関節リウマチ)			講義
	8	脳神経機能に障害をもつ患者の看護を学ぶにあたって			講義
	9	1) 症状・障害をもつ患者の看護① (意識障害、言語障害、運動麻痺、運動失調、不随運動、認知症)			講義
	10	1) 症状・障害をもつ患者の看護② (けいれん、感覚障害、筋力低下、嚥下障害)			講義
	11	1) 症状・障害をもつ患者の看護③ (排尿障害、呼吸障害、頭蓋内圧亢進)			講義
	12	2) 治療・処置を受ける患者の看護 (開頭手術、内科的治療、化学療法、放射線治療法)			講義
	13	3) 疾患を持つ患者の看護① (クモ膜下出血、脳腫瘍、脳梗塞 下垂体線腫の摘出を受ける患者)			講義
	14	3) 疾患をもつ患者の看護② (頭部外傷、多発性硬化症、筋ジストロフィ、ALS パーキンソン病、重症筋無力症、髄膜炎)			講義
	15	終講試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	系統看護学講座 成人看護学[10]運動器 <医学書院> 系統看護学講座 成人看護学[7]脳・神経				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・ 事後学習			

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	生命維持機能に障害のある成人の看護		
開講時期	2年次	単位・時間	1単位 30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 循環器系、呼吸機能、血液・造血機能に障害をもつ成人及び家族への看護の方法を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	循環機能障害をもつ患者の看護 1) 患者の特徴と看護の役割			講義
	2	2) 症状に対する看護			講義
	3	3) 検査を受ける患者の看護			講義
	4	4) 治療・処置を受ける患者の看護			講義
	5	5) 疾患を持つ患者の看護			講義
	6	呼吸機能に障害をもつ患者の看護 1) 患者の特徴と看護の役割			講義
	7	2) 症状に対する看護			講義
	8	3) 検査を受ける患者の看護			講義
	9	4) 治療・処置を受ける患者の看護			講義
	10	5) 疾患をもつ患者の看護			講義
	11	造血機能に障害をもつ患者の看護 1) 患者の特徴と看護の役割			講義
	12	2) 症状を有する患者の看護			講義
	13	3) 検査を受ける患者の看護			講義
	14	4) 造血器腫瘍患者の看護			講義
	15	終講試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	系統看護学講座 成人看護学[2]呼吸器 <医学書院> 系統看護学講座 成人看護学[3]循環器 系統看護学講座 成人看護学[4]造血器				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	1. 講義で配布された資料等を熟読・活用すること。		

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	消化機能、代謝機能に障害のある成人の看護		
開講時期	2年次	単位・時間	1単位 30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 消化・吸収・代謝機能・内分泌機能に障害をもつ成人及び家族への看護の方法を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	消化器患者の特徴と看護の役割			講義
	2	症状別看護			講義
	3	検査治療（薬物・食事・手術・放射線）			講義
	4	消化器疾患を持つ患者の看護（食道疾患）			講義
	5	消化器疾患を持つ患者の看護（胃・十二指腸の主な疾患）			講義
	6	消化器疾患を持つ患者の看護（大腸疾患）			講義
	7	消化器疾患を持つ患者の看護（肝疾患）			講義
	8	消化器疾患を持つ患者の看護（肝・胆・膵疾患）			講義
	9	内分泌・代謝系に障害をもつ患者の特徴と看護の役割			講義
	10	内分泌・代謝系に障害をもつ患者の看護 （甲状腺・副甲状腺・副腎）			講義
	11	内分泌・代謝系に障害をもつ患者の看護 （糖尿病概論・診断・検査）			講義
	12	内分泌・代謝系に障害をもつ患者の看護 （糖尿病合併症、食事療法、運動療法）			講義
	13	内分泌・代謝系に障害をもつ患者の看護 （糖尿病 薬物療法）			講義
	14	ストマ造設患者の看護			講義
	15	終講試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	系統看護学講座 成人看護学[5]消化器 <医学書院> 系統看護学講座 成人看護学[6]内分泌・代謝				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	1. 講義で配布された資料等を熟読・活用すること。		

科目区分	専門分野Ⅱ		科目名	排泄機能、生殖機能、免疫機能に障害のある成人の看護		
開講時期	2年次	単位・時間	1単位 30時間	講師名	看護師	
学習目標	1. 排泄機能・生殖機能及び身体防御機能に障害をもつ成人及び家族への看護の方法を理解する。					
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態	
	1	排泄機能に障害をもつ患者の看護 1) 疾患の経過と看護			講義	
	2	2) 症状に対する看護 骨盤底筋訓練の実際			講義・演習	
	3	3) 検査を受ける患者の看護			講義	
	4	4) 治療を受ける患者の看護			講義	
	5	5) 疾患を持つ患者の看護① (急性腎不全、急性腎障害)			講義	
	6	5) 疾患を持つ患者の看護② (慢性腎不全、慢性腎臓病)			講義	
	7	6) 泌尿器科的治療を受ける患者の看護			講義	
	8	2. 生殖機能に障害をもつ患者の看護 1) 患者の特徴と看護の役割			講義	
	9	2) 症状と病態に対する看護			講義	
	10	3) 臓器別、機能別疾患患者の看護			講義	
	11	4) 手術療法、化学療法、放射治療法を受ける患者の看護			講義	
	12	身体防御機能に障害をもつ患者の看護 1) アレルギー疾患患者の看護 ① 患者の特徴と看護の役割 ② 症状に対する患者の看護 ③ 検査を受ける患者の看護 ④ 治療を受ける患者の看護 ⑤ 疾患をもつ患者の看護			講義	
	13	2) 自己免疫疾患患者の看護 ① 患者の特徴と看護の役割② 症状に対する患者の看護 ③ 検査を受ける患者の看護 ④ 治療を受ける患者の看護 ⑤ 疾患をもつ患者の看護			講義	
	14	3) 感染症疾患患者の看護 ① 看護をとりまく感染症の問題 ② 感染予防 ③ 症状に対する患者の看護 ④ 検査・治療を受ける患者の看護 ⑤ 疾患をもつ患者の看護			講義	
15	終講試験					
評価方法	筆記試験 100%					
テキスト	系統看護学講座 成人看護学[8]腎・泌尿器 <医学書院> 系統看護学講座 成人看護学[11]アレルギー・膠原病・感染症 系統看護学講座 成人看護学[9]女性生殖器					
参考文献						
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	1. 講義で配布された資料等を熟読・活用すること。			

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	成人看護学演習			
開講時期	2年次	単位・時間	1単位30時間	講師名	専任講師	
学習目標	系統的な観察、問診、視診、聴診、打診により対象の健康状態を把握し評価する技術を習得する。					
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態	
	1	成人期にある慢性期の患者の看護過程① 1) 事例を展開するのに必要となる知識・理論			講義	
	2	成人期にある慢性期の患者の看護過程② 2) アセスメント 3) 看護診断(看護問題の明確化)			講義	
	3 4	成人期にある慢性期の患者の看護過程③④ 4) 看護診断の確定 5) 優先順位の決定 6) 看護計画 7) 実施と評価			講義	
	5	成人期にある急性期・回復期の看護過程① 1) 事例を展開するのに必要となる知識・理論			講義	
	6 7	成人期にある急性期・回復期の看護過程②③ 2) アセスメント 3) 看護診断(看護問題の明確化)			講義	
	8 9	成人期にある急性期・回復期の看護過程④⑤ 4) 看護診断の確定 5) 優先順位の決定			演習	
	10	成人期にある急性期・回復期の看護過程⑥ 6) 看護計画 7) 実施と評価			演習	
	11	成人期にある急性期・回復期の看護過程⑦ 胃切除後の観察・合併症の早期発見			演習	
	12	成人期にある急性期・回復期の看護過程⑧ 術後1日目の起立・歩行			演習	
	13	成人期にある急性期・回復期の看護過程⑨ 胃切術後の初回飲水・食事開始時の指導			演習	
	14	成人期にある終末期の看護過程① スピリチュアルケアを中心に			演習	
	15	まとめ・筆記試験				
	評価方法	筆記試験				
	テキスト	慢性期看護・急性期看護Ⅰ・緩和ケア 南江堂 看護診断ハンドブック 11版				
参考文献	ヘンダーソン・ゴードンの考え方に基づく実践看護アセスメント ニューベルヒロカワ					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	授業前に該当箇所の看護過程を演習記録に記載して臨む			